

まちづくりビジョン出前講座実施結果について

団体名：曲自治会 参加者数：17人
 実施日：6月26日(土) 19時30分 ~ 21時00分
 会場：曲農業構造改善センター

主な意見とビジョンへの対応方針

いただいたご意見は、今後議会へ提出する「北栄町まちづくりビジョン(案)」作成の参考とさせていただきます。

意見等要旨		町回答要旨	ビジョン 該当箇所	ビジョンへの反映
青山剛昌ふるさと館について	リピーターはどれくらいあるのか。町民でも行ったことがない。	ふるさと館マイスター(初級、中級、上級、プレミアム)認定者の内、再来館者の割合から、リピーターは約6%と推定されます。	第1編第3章 観光の振興	【盛り込み済】 コナンを活用した観光ルートづくりを推進し、観光客の満足度を高め、リピート率の高い魅力ある観光地づくりに努めます。
	北栄町だけでやってもいけない。中部一体となつてやらないと。	今年度から中部ふるさと広域連合で梨の花温泉郷の事務局を持ち、中部一体となつて観光振興に取り組んでいます。		【盛り込み済】 周辺地域や観光団体と連携し、観光振興を図ります。
民間の国際交流について	韓国から学生を20人ほど受け入れるが、できればそういう場合の支援をお願いしたい。	町内で活動される際には町マイクロバスの利用など、対応できる部分で協力しています。	第1編第4章 国際交流の推進	【盛り込み済】 多様な分野での活動を支援します。
人権・同和教育について	何十年もこういう施策を行ってきたが、10年前と比べ、どれだけ町民の意識が変わったか。町として、はっきりと変わっているといえるのか。	人権に関する町民意識調査は、旧北条町は平成12年に、旧大栄町は平成11年に行いました。平成20年度に北栄町として行っています。以前の調査と設問内容が違うため、比較は出来ませんが、「講演会や研修会、小地域懇談会に参加されてどのように思われましたか。」について50%を超える方が、「人権の大切さがわかった」「もっと学習を深めたいと思った」と回答されており、町民の人権への意識は変わってきていると考えています。	第2編第1章 人権・同和教育の推進	【盛り込み済】 人権・同和教育をあらゆる差別をなくしていくための人づくりととらえ、町民一人ひとりがともに幸せに暮らすことのできるまちづくりを目指します。

人権・同和教育について	いつまで同和教育をすすめていくのか。	まだ私たちの身の回りには、人権に関する様々な問題が残っていると考えており、また、町内において差別落書き事象が発生している現実もあります。差別事象が発生するということは、差別意識が現有するということでもあり、今後とも研修機会を設定し、取り組んでいきたいと考えています。	第2編第1章 人権・同和教育の推進	【盛り込み済】 差別がなくなる限り今後も町の重点課題として取り組みます。
小地域懇談会について	<p>参加する人は同じ顔ぶれで、だんだん少なくなってきている。どうやって人を集めるかが大変。参加者が減るなら継続しても意味がない。参加者を増やす方法を検討しなければいけない。</p> <p>小地域懇談会は毎年同じことをやっていて住民が参加しない。これをずっと続けていくのがいいのか、または他の方法がいいのか考えて欲しい。</p>	人権問題に関する研修会でもある「小地域懇談会」は、平成21年度からは、各自治会で主体的な取り組みにさせていただきようをお願いしています。内容につきましては、ビデオや講演だけでなく、参加型の学習も出来るよう内容を充実しています。今後も、内容の充実を図っていきませんが、各自治会においても参加者が増えていくような周知方法の工夫や学習内容の選択を考えていただきたいと考えています。また、この研修会を暮らしやすい地域づくりの一環としてとらえていただき、積極的な参加をよろしく願います。		【盛り込み済】 人権・同和教育を人づくり、まちづくりとしてとらえ、学習機会の提供を図ります。
高齢者福祉について	要介護者を増やさないためには具体的にどのようなことをするのか。	そのための施策を「健康づくり活動の推進」、「生活習慣病の予防対策」として盛り込んでいます。	第3章第2章 高齢者福祉の充実	【盛り込み済】 子どもの頃からの健康的な生活習慣の確立を図ります。
子育てについて	「子育てするなら北栄町」として思い切った施策を行って欲しい。子どもが多く産まれることが町の活性化につながる。他の町とは違う特徴がなければいけない。他市町からどんどん転入するような施策を取り入れて欲しい。	医療費助成の拡大、幼保一元化など行っています。ビジョンには個別具体的な事業は盛り込まないので、特に予算に関わる保育料の無料化などは記載しませんが、施策として毎年の予算編成の中で反映していきます。	第3編第3章 子育てと仕事の両立支援	【盛り込み済】 具体的な施策については、財政状況を考慮しながら予算編成の中で検討します。ただし、医療費助成、幼保一元化、保育料の1割減額などはすでに実施しているところです。

自治会の活性化について	旧町では各自治体に生涯学習の担当があり、年1~2回は研修があった。今年度、生涯学習部の研修を計画されたが、こういうことで自らイベントなどを企画することができるようになり、地域が活性化していく。基本は自治会の活性化で、それがまちづくりにつながると思う。	ビジョンに記載のとおり、自主的な地域づくり活動への参画につながるための支援を行います。	第5編第2章 協働活動の推進	【盛り込み済】 町民等が自立して活動するための仕組みや協働のルールを整備し、必要な支援を行います。 ・町民の自主的な地域づくり活動への参画を支援します。 ・地域活動の核となる人材の育成に努めます。
	納税組合の補助金がなくなった。その分は自分たちの会費でまかなわなければならないことは理解できるが、自治会の活性化のためにはそれに代わる財政的な支援を盛り込んでほしい。	そもそも納税組合補助金は、自治会会計への充当を目的としたものではありません。現在、各自治会へは世帯数に応じて「自治会総合交付金（自治会運営費交付金）」を交付していますので、ご理解ください。		

その他の意見・質問と回答

次のご意見は、まちづくりビジョンの策定作業とは別に処理すべきである、またはご質問に対する回答のみでよいと判断し、担当課による回答を掲載します。

	意見等要旨	担当課回答
農業担い手・相続問題について	<p>町外に住んでいて水田を売ってしまいたいという人がいる。個人のことだとは思いますが、農業委員会に相談しても良い対応をしてもらえない。</p> <p>北条地区ではほとんどが圃場整備され、生産組合などで管理している。どこかに自分の土地があると思うが、所有者が亡くなり相続する人がいなくなったら生産組合に買ってもらえるような仕組みにならないか。</p>	<p>農業委員会では、売買希望の農地（町内に所在するものに限る。）を「農地流動化台帳」に載せるとともに、農業委員会総会で委員にこの旨お知らせし、当該農地の購入を希望する方を採す方法を探っています。しかし、最近の売買状況をみますと、相対で合意される場合を除き、農地を購入するという手法により、規模拡大を図る農業経営者がほとんどないため、農地の購入を希望する方が見つかりづらい状況にあります。</p> <p>法人格を有する生産組合は買取りが可能です。地域の農業者で組織された任意団体である生産組合が買取り、取得することはできません。なお、売買の相手が生産組合以外の場合、所有者が死亡されている田は相続登記が完了した後に所有権移転が行われることとなります。</p>
松くい虫防除について	<p>現在行っている松くい虫防除は浜側では意味があると思うが、山側では松枯れがおきている。すぐ南側の倉吉市では防除していない。茶臼山でも以前は同じような状況で、効果がないので樹種転換してきた。山側の防除はムダである。</p>	<p>基本的に、松くい虫防除は自治会からの要望を取りまとめ、同意をいただいて実施しています。これまで関係自治会からそのような反対意見が出ていませんでしたので実施してきた経過があります。なお、松くい虫防除の効果については、具体的な例では、合併前に旧大栄町で倉吉市が防除を中止した際に同じように中止した年がありました。しかし、翌年度の被害が甚大だったため、改めて防除の効果を確認し再開しました。また、倉吉市側が防除していないのでムダであるという意見につきましては、まさに倉吉側の松くい虫をこの山側で食い止めることにより、海側の松林はもとより各家庭の松等も守っていると考えています。これは費用対効果で計ることは困難ですが、現状の農地や住民生活を守ることに少しでも効果があると思われる防除をすぐに中止にすることは難しいことですが、各関係自治会の意見を取りまとめながら検討したいと思えます。</p>
台湾との交流について	<p>交流に係る経費についてはお互いに対等でなければいけない。どちらかが費用を持つような交流はいけない。</p>	<p>ご指摘のとおりです。実施については出前講座でご説明したとおり、宿泊を含む旅費は各自の費用とし、受け入れ経費やレセプションなどの歓迎に関する経費は、お互いに受け入れ側がその費用を支払っています。</p>
子育てについて	<p>結婚支援は他市町と連携しながらやっているのか。</p>	<p>町内の団体が県の「ときめき巡り逢いコーディネーター事業」のサポーターに登録し、平成21年度からイベントを2回実施しており、湯梨浜町のサポーターと合同開催も検討中です。参加は自由（町外からも）にできます。</p>